

令和7年度 教育計画						学校番号 14	
新居浜市立船木中学校ひびき分校							
校長名	越智 誠司	学級数	1 (0)	児童 生徒数	7	教職員数	6

グランドデザイン

船木中学校ひびき分校・船木小学校わかば分教室では

学校の教育目標

規律のある生活習慣を身に付け、
社会に適応できる児童・生徒の育成

をめざします。

船木中学校ひびき分校・船木小学校わかば分教室のめざす児童・生徒像

社会に適応できる
児童・生徒

互いに協力し合う
児童・生徒

粘り強く取り組む
児童・生徒

- ・ 基本的生活習慣の確立
規範意識の育成
身だしなみの徹底
時間厳守
挨拶の励行
- ・ 基礎・基本の定着
学習習慣の確立
T.Tによる個別指導
補充学習の実施
漢字・英語検定の充実
タイピング技術の向上

- ・ 心を育てる道徳教育
道徳の時間の充実
短学活の充実
思春期講座
薬物乱用防止教室
- ・ 情操を高める総合的
な学習の時間
和太鼓活動
地域での和太鼓演奏

- ・ 部活動の充実
四国地区少年野球大会
四国地区少女テニス大会
- ・ 朝マラソンの実施と継続
四国地区少年少女駅
伝・マラソン大会
- ・ 環境整備作業

施設、家庭、関係機関との連携を密にし、
責任を果たす「信頼される学校」

ひびき分校等支援連絡会議の充実

関係機関と連携して進める
進路保障

連携
協力

施設職員との連携・情報の共有、
同一步調による指導
業務改善(ノー残業 Day の設定)

前在籍学校等各関係機関
入園引継会、学校・家庭訪問
家庭実習・学校実習
進路相談会、進学先訪問

愛媛県立えひめ学園
運営への参画
役職会、ケース検討会
処遇検討会、進路指導部会
子どもを中心に据えた行事
子どもの人権を守る取組

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<p>1 自立に向かって内省し、社会に適応できる生徒を育てる</p> <p>(1) 施設内学校の特色を活かした教育課程の編成と実施</p> <p>(2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と主体的に学習に取り組む態度の育成</p> <p>(3) 学習指導・生徒指導と特別支援教育の一体化の推進</p> <p>2 思いやりの心を持ち、協力し合える生徒を育てる</p> <p>(1) 人権意識を基盤とし、思いやりの心と仲間意識に支えられた集団づくりの推進</p> <p>(2) 和太鼓演奏発表など地域参加体験活動を通じた心の教育の推進</p> <p>(3) 道徳的実践力、生きる力を培う道徳教育の推進</p> <p>3 進んで体を鍛え、目標に向かって粘り強く取り組む生徒を育てる</p> <p>(1) 健康的な生活習慣の確立と部活動の強化・朝マラソンの充実による体力の向上</p> <p>(2) 自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒の育成</p> <p>(3) 自らの生き方を主体的に選択できる進路指導の充実・進路保障を実現する関係機関との連携推進</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営</p>	<p>【人的管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相互信頼と協働を基にしたやりがいのある職場づくり ○ コンプライアンスの遵守と「報・連・相」による信頼される服務 ○ ノー残業 DAY の設定や学園との業務分担の見直しによるワーク・ライフ・バランスの推進 <p>【物的管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 危機管理意識の向上による校内施設点検の徹底と危険箇所への早期対応 ○ 機能的で潤いのある教育環境の整備 ○ 施設・設備・備品等の効果的な活用と適正な管理 <p>【事務管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校務支援システムによる事務処理の正確化と迅速化 ○ 情報及び経理に関する事務の厳正化 ○ 校務分掌の適正化とフォローアップ体制の強化
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校教育の特色</p>	<p>本校は、児童自立支援施設「えひめ学園」内に設けられた施設内学校である。学園では、自身やその周りに課題を抱える子どもたちが親元を離れ、集団生活を送っている。そうした子どもたちの社会的な自立を支援していくために、学園と連携しながら教育活動を推進している。分校や学園での集団生活、伝統的に取り組まれてきた朝マラソンや和太鼓活動などを通して、スモールステップで「社会に適応できる児童・生徒」「互いに協力し合う児童・生徒」「粘り強く取り組む児童・生徒」の育成を目指す。</p>